

【2024年度 高大連携委員会 事業報告】

委員長校	関西国際大学
副委員長校	神戸親和大学
委員校 (全17校)	関西学院大学、関西学院短期大学、甲南大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸常盤大学、頌栄短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学、流通科学大学

中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標	
課題	課題②県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続
取組1	大学と高等学校の意見交換会の実施「ひょうご高校大学コンソーシアム」
達成目標	各年参加校数20校以上
活動指標	意見交換会等の実施/年1回以上
取組2	加盟校の魅力を情報発信
達成目標	各年情報提供先数 高等学校等200校以上
活動指標	大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページへの情報掲載 アンケート等の実施/年1回以上

目的

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携」の推進に向けて、以下の取組課題について、事業推進を行う。

【取組課題②】県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続
上記の体制の構築並びに、必要な新規のプロジェクト事業は本委員会にて実施する。

予算額	課題②県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続		
	取組1	大学と高等学校の意見交換会の実施「ひょうご高校大学コンソーシアム」	200,000円
	取組2	加盟校の魅力を情報発信	300,000円

期待される効果
1.大学と高等学校の意見交換会の実施 兵庫県立高等学校と設置した意見交換の場「ひょうご高校大学コンソーシアム」を継続的に開催していくことにより、県下大学と高校の高大連携をめぐる多くの課題を共有し、県内大学と高校における教育の連携を通じた人材育成の取り組みを促進する。大学と高校教職員の相互理解と人的ネットワークの構築が期待できる。
2. 加盟校の魅力を情報発信 高校並びに教職員・学生に対して、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の魅力を伝えることで、大学での学びに対する理解を深め、進路選択と県内大学への進学率の向上に寄与する。さらには、生徒の大学進学後の学生生活の充実と大学で主体的に学び続ける意欲を高める効果が期待できる。

【2024年度 高大連携委員会 事業報告(②取組1)】

課題②	県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続	
達成目標	各年参加校数20校以上	
委員校 (全17校)	大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」	
活動指標	意見交換会等の実施/年1回以上	
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
「ひょうご高校大学コンソーシアム」の開催 兵庫県下の県下高等学校・教育委員会・加盟校との意見交換の場である「ひょうご高校大学コンソーシアム」を開催する。 ・県下の大学と高校の高大連携をめぐる具体的な課題を共有し、県内大学と高校における教育の連携を通じた人材育成の取り組みを促進する。 ・2014年から実施している本取組を継続開催することで、大学と高校教職員の相互理解と人的ネットワークの構築を図る。	〈活動内容〉 1.兵庫県教育委員会との意見交換会の実施 【実施日】2024/9/2 【参加者】教育委員会高校教育課3名、関西国際大学2名、神戸親和大学1名 2.ひょうご高校大学コンソーシアムの実施 ひょうご高校大学コンソーシアム2024 「総合型選抜と進路指導 大学はどのような学生を求めているのか」 【開催日】2024/9/17 【会 場】(ハイブリット開催) 兵庫国際交流会館 1階 Nadacom Station/オンライン:ZOOM 【参加者】総計67名(加盟校:22校26名、高校:29校40名、兵庫県教育委員会:1名) 今年度は「合同進学説明会」(取組2)と同時開催された。昨年度の参加者(高校教員)から総合選抜における探究学習の成果の評価について関心が寄せられたことを受け、第1部では総合型選抜に特化した「合同進学説明会」を、引き続き開催された第2部では、大学教職員と高校教員5～6人が1グループとなり、自由な意見交換ができるセッションを2回実施した。第1部の大学の総合型選抜に関する説明についての質疑応答のほか、高校の先生方の日常の授業や進路指導における実状をふまえた意見交換が各グループで活発に行われた。 〈自己評価〉 2014年度から兵庫県立学校長協会ならびに兵庫県教育委員会と連携を続けながら、高校と大学の教職員が一同に会して、今日的な高大接続や高大連携の課題について、率直な意見交換を継続していることは、高校と大学の教職員の相互理解を深める観点でも貴重な機会となっている。2024年11月現在、本プログラムは、当初計画通りに進行しており、継続すべきと考える。	〈活動内容〉 1.兵庫県教育委員会との意見交換会の実施 【実施日】2024/9/2 【参加者】教育委員会高校教育課3名、関西国際大学2名、神戸親和大学1名 2.ひょうご高校大学コンソーシアムの実施 ひょうご高校大学コンソーシアム2024 「総合型選抜と進路指導 大学はどのような学生を求めているのか」 【開催日】2024/9/17 【会 場】(ハイブリット開催) 兵庫国際交流会館 1階 Nadacom Station/オンライン:ZOOM 【参加者】総計67名(加盟校:22校26名、高校:29校40名、兵庫県教育委員会:1名) 〈報告〉 今年度「合同進学説明会」(取組2)と同時開催した「ひょうご高校大学コンソーシアム」には、加盟校22校と高校29校が参加し、達成目標および活動指標のいずれも達成した。 昨年度の参加者からのフィードバックを反映させた総合選抜型に関する説明会や、大学と高校の教職員が小人数グループで行ったセッションでは、総合型選抜入試や進路指導などについて活発な意見交換が行われた。この結果、県内の大学と高校が、高大連携に関する具体的な課題を共有し、教職員間の人的ネットワークを構築することで、地域活性化に貢献する人材育成のための連携が一層促進された。
達成目標に対する実績	参加校数22校	参加校数22校
活動指標に対する実績	年1回実施	年1回実施
自己評価基準:対到達目標 ※	4	—
自己評価基準:対継続性 ※	4	—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
200,000円	35,600円 (※10月末現在)	164,400円 (※10月末現在)	49,260円	150,740円
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
兵庫県下の大学と高校の連携・接続に関する課題の共有、およびその課題について意見交換が継続的に行われている点については評価できる。引き続き、兵庫県下の高大連携を深め、人材育成の取組促進・人的ネットワークの構築を図るための活動を推進してほしい。				

※ 自己評価基準:対到達目標	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	※ 自己評価基準:対継続性	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
-------------------	--	------------------	--

【2024年度 高大連携委員会 事業報告(②取組2)】

課題②	県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続	
達成目標	各年情報提供先数 高等学校等200か所以上	
委員校 (全17校)	加盟校の魅力を情報発信	
活動指標	大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページへの情報掲載・アンケート等の実施/年1回以上	
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
県内大学等の情報提供の実施 高校並びに教職員・学生に対して、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の魅力を伝えることで、大学での学びに対する理解を深め、進路選択と県内大学への進学率の向上に寄与する。 さらには、生徒の大学進学後の学生生活の充実と、主体的に学び続ける意欲を高めるべく、合同進学説明会、アンケートの実施や、大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページに「オープンキャンパス」「まなび発見マップ」「探究学習」「学園祭」等の情報を掲出する。	〈活動内容〉 1.合同進学説明会の実施 合同進学説明会「大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校における総合型選抜について」 【開催日】2024/9/17 【会 場】(ハイブリット開催) 兵庫国際交流会館 1階 Nadacom Station/オンライン:ZOOM 【参加者】総計67名(加盟校:22校26名、高校:29校40名、兵庫県教育委員会:1名) 大学への進路選択に向けて高校教員を対象とした共同の説明会を実施。今年度は、ひょうご高校大学コンソーシアム(取組1)と同時開催され、第1部では総合型選抜に特化した「合同進学説明会」が行われ、自学の総合型選抜の特徴や合格させたい学生像、面接等で重要視していること、アドミッションポリシーに関わる内容について各大学より説明があった。引き続き開催された第2部では、大学教職員と高校教員がグループに分かれ、自由な意見交換ができるセッションを2回実施した。セッションでは第1部の大学の総合型選抜に関する説明についての質疑応答も行われ、高校での生徒の学びと大学での学びのつながりについて、理解を深める機会となった。 2.県内大学等の情報提供の実施 コンソHPにて各大学の「オープンキャンパス」、「学園祭」、「学び発見マップ」(学部学科情報)、「知りたい!探究学習」(高大連携における探究学習支援に取り組む加盟校の紹介)等の情報を発信することで、コンソ加盟校の魅力を伝え、オープンスクール等のイベントへの参加を促すきっかけツールの役割を果たしている。 また「ひょうご高校大学コンソーシアム2024」 「合同進学説明会」開催の情報を兵庫県立学校長協会を通して県下の高等学校に提供した。 〈自己評価〉 高校と大学の学びの接続、教育の連携の観点から、高校・高校生等に加盟校の特徴を広く情報提供することは、重要な課題と考える。高校と大学の意見交換の場である「ひょうご高校大学コンソーシアム」等での教職員間の議論や意見をふまえて、コンソーシアムホームページ上で加盟校の情報発信等に取り組むことは、次年度以降も継続する必要があると考える。	〈活動内容〉 1.合同進学説明会の実施 合同進学説明会「大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校における総合型選抜について」 【開催日】2024/9/17 【会 場】(ハイブリット開催) 兵庫国際交流会館 1階 Nadacom Station/オンライン:ZOOM 【参加者】総計67名(加盟校:22校26名、高校:29校40名、兵庫県教育委員会:1名) 2.県内大学等の情報提供の実施 コンソHPにて各大学の「オープンキャンパス」、「学園祭」、「学び発見マップ」(学部学科情報)、「知りたい!探究学習」(高大連携における探究学習支援に取り組む加盟校の紹介)等の情報を発信することで、コンソ加盟校の魅力を伝え、オープンスクール等のイベントへの参加を促すきっかけツールの役割を果たしている。 また「ひょうご高校大学コンソーシアム2024」 「合同進学説明会」開催の情報を兵庫県立学校長協会を通して県下の高等学校に提供した。 ＜報告＞ 今年度「ひょうご高校大学コンソーシアム」(取組1)と同時開催した「合同進学説明会」において、各大学から高校教員に向けて、自学の総合型選抜の特徴や合格させたい学生像と共に、自学の魅力を直接伝える機会を設けた。併せて、大学と高校の教職員が自由に意見交換できるセッションを行うことで、学びのつながりへの相互理解を深めた。なお、「ひょうご高校大学コンソーシアム」 「合同進学説明会」開催の情報は、兵庫県立学校長協会を通して県下の高等学校に提供した。 また、加盟校の情報をコンソHPに掲載し、大学での学びに対する理解を深め、県内大学への進学率の向上に取り組んだ。さらに、今年度新たな取組として、兵庫県教育委員会を通じてコンソの「高大連携プログラム」を紹介する資料を配布した。加えて、伊丹北高校から提供された探究授業におけるティーチングアシスタント募集の情報を委員校に案内し、高校・大学相互の情報共有を実施した。 これらの活動により、活動指標および達成目標を達成することができた。今後も、オンラインとオフラインの双方の媒体を併用して、高校関係者に加盟校の情報を継続的に発信するとともに、高校からの情報の共有も図る。
達成目標に対する実績	情報提供先数:(兵庫県立学校長協会にて)50か所 年度内に新たに情報提供を行い200か所以上達成予定	情報提供先数:(兵庫県立学校長協会、兵庫県教育委員会を通じて)情報提供数200か所以上達成
活動指標に対する実績	コンソホームページへの情報掲載年1回	コンソホームページへの情報掲載年1回
自己評価基準:対到達目標 ※	3	—
自己評価基準:対継続性 ※	4	—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
300,000円	0円 (※10月末現在)	300,000円 (※10月末現在)	117,890円	182,110円
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
コンソHPでの情報発信や、県下の高等学校への情報共有など高大連携に関する情報を提供している点については評価できる。今後も継続して、オンラインはもちろん説明会やパンフレットなどのオフラインも併用しながら、高校の教職員・高校生・保護者への、加盟校の情報を発信していただきたい。				

※ 自己評価基準:対到達目標	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	※ 自己評価基準:対継続性	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
-------------------	--	------------------	--

【2024年度 高大連携委員会 事業決算】

(単位：円)

		予算	決算	各プログラム 予算・決算						委員会 予算		
				取組1			取組2					
				大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」			加盟校の魅力を情報発信					
				内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額
収入	会費収入	600,000	600,000		200,000	200,000		300,000	300,000		100,000	100,000
	助成事業収入	0	0									
	受託事業収入	0	0									
	プログラム収入	0	0									
	雑収入	0	0									
	戻入金	0	0									
	計	600,000	600,000	200,000		200,000	300,000		300,000	100,000		100,000
支出	会議費	10,000	5,733			1,296				お茶代等	10,000	4,437
	旅費交通費	30,000	15,000	交通費	20,000	14,080				旅費交通費	10,000	920
	通信運搬費	100,000	105,450				通信費等	90,000	85,650	通信運搬費等	10,000	19,800
	消耗品費	15,000	8,230	消耗品	5,000	3,469				消耗品	10,000	4,761
	新聞図書費	10,000	0							参考図書	10,000	0
	印刷製本費	35,000	32,240				チラシ等	35,000	32,240			
	光熱水料費	0	0									
	賃借料	35,000	30,195	会場費	35,000	30,195						
	保険料	0	0									
	謝金	315,000	0	謝金	140,000	0	謝金	175,000	0			
	租税公課	0	0									
	支払手数料	10,000	440			220				振込手数料	10,000	220
	諸会費	10,000	2,000							フォーラム等参加費	10,000	2,000
	委託費	30,000	0							各プログラムHPに係る予備費	30,000	0
	人件費	0	0									
	接待交際費	0	0									
	支払支援金	0	0									
	雑費	0	0									
	計	600,000	199,288	200,000		49,260	300,000		117,890	100,000		32,138

収入－支出	400,712
-------	---------